

[D類養護教育コース 対象]

小論文 解答例

令和8年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

問1 (出題意図)

図1から死亡率に関してグラフを正しく読み取る能力をみる問題である。

(採点のポイント)

主な死因別に見た死亡率の年次推移を読み取ることができるか。死亡率の上昇している疾患、減少している疾患についての情報を正しく読み取り論じることができるか。

誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。

問2 (出題意図)

図1を踏まえて、疾病構造の変化についての知識を問う問題である。疾病構造の変化には、歴史的背景や生活習慣の変化があることを、具体的な例を挙げて、論じることができるかをみる。

(採点のポイント)

戦後、栄養状態の改善や結核対策も進んだ結果、結核等での死亡が減少し、これらに代わって「悪性新生物（がん）」、「脳血管疾患」、「心臓疾患」など老化や生活習慣と結びついた疾患が増大してきたこと。

食生活の欧風化により、塩分、炭水化物の多い食事から肉類、油脂類の摂取が多い食事へと変化したため、「脳血管疾患」は漸減したのに対して「心疾患」は増加傾向にあり、両者が大きく逆転したこと。

「悪性新生物（がん）」の死亡率が上昇している大きな理由として、「悪性新生物」による死亡率の高い高齢者の比率が上昇している点、喫煙、飲酒、野菜不足や過食、運動不足などの生活習慣、細菌、ウイルスによる感染など様々な原因が挙げられること。(但し、小児がんでは生活習慣病や細菌・ウイルスと関係ないものがほとんどであることや、がんの原因のすべてがわかっているものではないことも、必要であれば記述してもよい。)

近年は老衰死が多い後期高齢者の死亡割合が大きく上昇しているため、老衰死の死亡率も顕著に上昇して来ていること。

などが挙げられているか。

誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。

問3 (出題意図)

がんとともに生きる社会づくりについて、広い視野で考え論じることができるかを問う問題である。また、社会的な対策と、自分自身でできる対策について述べられるかも見る。

(採点のポイント)

がんとともに生きる社会づくりには、がんの社会的対策、がんについての情報の活用、がん患者への理解と共生等が挙げられること。それぞれの具体的な対策については以下に示す。

【がんについての社会的対策】

- ・がん対策基本法に基づく「がん対策推進基本計画」により社会的対策が総合的かつ計画的に進められていること。
- ・がんの予防方法の普及啓発、がん検診などを利用した早期発見・早期治療の取り組み、がん診療を行うがん診療連携拠点病院の整備、遺伝子情報を活用したがんゲノム医療の推進などが挙げられること。
- ・小児・AYA世代の患者に対応した小児がん拠点病院の整備を行うこと。

【がんについての情報の活用】

- ・「がん情報サービス」など、信頼性の高い情報の提供を行うこと。
- ・がん相談支援センターなど、拠点病院に整備し、だれもが利用できるようにすること。

【がん患者への理解と共生】

- ・がん患者のことやその人が受けている治療について正しく理解し、患者とその家族、それらを取り巻く誰もが暮らしやすい仕組みを整えていくこと。
- ・医師、看護師、公認心理士、薬剤師、ソーシャルワーカー、管理栄養士、リハビリ専門職など専門家がチームとなり、がん患者とその家族を支援していくこと。

誤字や脱字、当て字などを使用していないか、制限文字数に近い記述となっているか。